



名古屋城 子ども博士になろう



ワークシート「芸能」編 なぜ名古屋は「芸どころ」になったのでしょうか

()年()組 名前()

1 「芸どころ名古屋」になった理由として、正しいものをすべて選びましょう。

- A. 名古屋の町が経済的に豊かになった。
- B. 名古屋では芸ごとを教える人や習う人が少なかった。
- C. 名古屋の地に、芸ごとを教える人、習う人、支える人たちが現れた。
- D. 初代藩主義直や2代藩主光友が、芸能への理解が深く、芸ごとを支えた。

こたえ

A
C
D

2 名古屋城の能や宗春の政策について、()の中にあてはまる言葉を入れて、文章を完成させましょう。

名古屋城の(**二之丸御殿**)には、表舞台と奥舞台の二つの能舞台がありました。催された能に招かれた僧侶や神官、有力な(**町人**)などは、舞台下で能を見ました。また、7代藩主(**宗春**)は、芝居や祭りを(**奨励**)する政策を進めました。そのため、城下の(**商業**)などが大いに発展し、いろいろな規制が緩やかになり、(**藩士**)や(**町人**)の間に、芝居見物や芸ごとのけいこ、祭りなどが(**盛ん**)になりました。

江戸時代から続く「名古屋(**三**)大祭」は、東照宮祭、天王祭、若宮祭があります。(**東照宮祭**)では、からくり人形をのせた(**山車**)が町を進み、名古屋城(**三之丸**)まで入ることができました。山車を引く形の祭りは、(**農村**)にも広がり、庶民の楽しみを作り出していました。



「東照宮祭礼図」(橋弁慶車部分)
(名古屋市鶴舞中央図書館蔵)

3 名古屋の芸ごとや祭りについて、「すごい。」と思ったことを、書きましょう。

- ・名古屋では、江戸時代から芸ごとを教える人や習う人がたくさんいて、町がにぎわっていたこと
- ・二之丸御殿に二つの能舞台があり、庶民も能を見ることができたこと
- ・宗春が芸ごとや祭りを盛んにしたことで、町の人たちの楽しみがふえたこと など